

希望

チューリツヒ日本人学校便り

平成 29 年 9 月 25 日発行

第 19 号

編集発行 鈴木史良

全力を出し切った持久走大会

—— それぞれの目標をめざしてがんばった子どもたち ——

2学期が始まったばかりの8月下旬からほぼ1か月余り、雨が降らない限りはどの学年も、体育の時間は持久走大会に向けた練習をおこなってきました。練習で走る道は、本番のコースと同じ、ウスター城の丘にあるブッフハルデンヴェーグです。アップダウンのある砂利道コースですが、普段は散歩道として使われ、車の通行がほとんどないので、安全に走ることができます。どの児童生徒も自分のめあてを立て、本番に向けて自己のレベルアップを図るべく、粘り強く頑張ってきました。

本校の持久走大会で走る距離は、小学部低学年＝Aコース（1000m）、中学年＝Bコース（1400m）、高学年＝Aコース2周、中学部＝Bコース2周です。1階廊下奥にある保健室入り

ロドア上の壁面に「マラソン大会歴代最高記録」の木札が掛けられているのをご存知でしょうか。これが作られたのが平成12年（2000年）ですので、少なくとも18年間は、毎年同じ距離を走ってきているのではないかと思います。当時は「マラソン大会」と称していたようですが、いつ頃「持久走大会」に変わったのか、定かではありません。学年、男女別の木札にはそれぞれの学年でこれまでのベスト記録とその児童生徒名が墨書されています。いちばん古いもので2001年の6年生の児童の記録が未だに破られずに残っています。

今年は青空に薄雲が広がり、よいコンディションとなりました。ウスター城前の広場でおこなった開会式で、一人ひとりが決意を發表しました。

- ・前の人を抜かすため坂をダッシュで走る。
- ・大会最高記録を出したい。
- ・中学生につづき、下りのときはやくする。
- ・前半おさえて後半ラストスパートする。
- ・応援をパワーにして頑張る。
- ・自己ベストを1秒でも更新したい。
- ・2周目でペースが落ちないようにする。

苦しくても気持ちを奮い立たせ、ベストをつくして走った子どもたち。友達の走りを励まし大きな声で応援した子どもたち。その姿はとても美しく感動的で、見ていて心洗われるような思いがしました。閉会式では子どもたち全員に完走証を授与し、健闘を称えました。ご声援いただいた保護者の皆様、子どもたちのために力強いお声掛けをいただき、ありがとうございました。



開会式での個人目標の発表



スタート直後の猛ダッシュ

スーパーマーケット探検隊 ⇒ 「小3学級だより」から紹介

先週の火曜日、社会科で、スーパーマーケットの見学に1、2、3年生合同で行ってきました。coopでは、涼子さんが店長さんに質問したり、店内を見学したりしました。

①月曜から金曜まででいちばんお客さんが多いのはいつですか？

①それは、金曜日です。でも、いちばん多いのは土曜日です。

②何時ぐらいにいちばんお客さんが来るんですか？

②5時から6時の夕方が多いです。

お店の入り口には野菜や果物を置きます。野菜や果物は新鮮さが大切ですからね。

日本のスーパーも同じだなあ。

10月の主要予定

ホームページの公開はしておりません。ご了承ください。